

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 ()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大分県由布市 (442135)
地域名 (地域内農業集落名)	畑・小平 (下湯平)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	12.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	12.2 ha
② 田の面積	12.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考)区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.0 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

認定農業者を中心に経営している。現在取組を行っているものは、鳥獣被害防止対策、果樹等の栽培の推進、農地の保全・管理等、水田の畑地化である。地域内で主に栽培している作物は、米、ゆず、ブルーベリー、しいたけである。地域が抱える課題として農業者の高齢化、農業者の減少、経費の増加、収入の低下、新規の担い手不足、遊休農地の増加、鳥獣被害の増加、機械等の共同利用が進まないことが挙げられる。これらの課題の原因や理由として挙げられるのは、当地区は面積的に小さく、しかし山際に水田が多く、個人でイノシシ・鹿対策をしてきたが高齢化が進み対策ができない状況となっていることである。そのため、認定農業者が一人でも安心して農業ができるよう、鳥獣被害防止柵等の支援が必要である。人口の減少に伴い後継者が不在の状況で、柵の補修・見回り等対応が個人では担えなくなっており、かつ地域内で協力してくれる人も少なくなっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

規模拡大、低コスト化を図ること、地域の中心となる経営体に積極的に集積すること、地域資源を生かした特産品の生産や加工販売に取り組むこと、減農薬や化学肥料を削減し環境保全型農業に取り組むこと、地域の良いところを積極的に情報発信し、移住促進を行うことを目指す。また地域の所得向上に向け、果樹等への転換、加工品の製造、作物のブランド化、法人の強化・集積に取り組みたいと考えている。その他、個人でライスセンターをしている人を対象に行政から率先して地区ごとに働きかけ、地域の経営体を作るよう指導をお願いしたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
低コスト化を行いながら規模拡大、生産性の向上を図る。また、新規就農者の獲得、法人の強化、企業参入を積極的に目指す。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	6 %	将来の目標とする集積率	6 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
認定農業者等を中心とする経営体に集約する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
ライスセンターが中心となり、苗づくり、田植え、稲刈りが仕組み化された経営体ができるよう行政に働きかける。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
耕作条件の良い農地を選定し、新規就農希望者とのマッチングを図る。
(3) 基盤整備事業への取組
最低限の基盤整備を実施済み。今後の予定はない。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地区ごとに農業経営体を作るよう、基盤的な取組を行政に働きかけながら確保・育成に取り組む。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現状では取組なし。今後、由布市内の集落営農法人が連携して設立した株式会社ゆふ農業サポートと連携し、耕作放棄地の草刈りや本井路からの水路の清掃・整備の取組を集落内でも検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①防護柵の設置及び点検を行っていく。
- ⑤ブルーベリー、ゆずの栽培。
- ⑨水田の畑地化。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

※経営面積 0ha = 0.1ha未満の担い手

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	1	
利用者		水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	2	
利用者		水稲、野菜等	1.1 ha	— ha	水稲、野菜等	1.1 ha	— ha	3	
利用者		水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	4	
利用者		水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	5	
利用者		水稲、野菜等	1.8 ha	— ha	水稲、野菜等	1.8 ha	— ha	6	
利用者		水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	7	
利用者		水稲、野菜等	0 ha	— ha	水稲、野菜等	0 ha	— ha	8	
利用者		水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	9	
利用者		水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	10	
利用者		水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	11	
利用者		水稲、野菜等	0.8 ha	— ha	水稲、野菜等	0.8 ha	— ha	12	
認農		水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	13	
利用者		水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	14	
利用者		水稲、野菜等	0.4 ha	— ha	水稲、野菜等	0.4 ha	— ha	15	
利用者		水稲、野菜等	0.6 ha	— ha	水稲、野菜等	0.6 ha	— ha	16	
利用者		水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	17	
利用者		水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	18	
利用者		水稲、野菜等	0.4 ha	— ha	水稲、野菜等	0.4 ha	— ha	19	
利用者		水稲、野菜等	0.4 ha	— ha	水稲、野菜等	0.4 ha	— ha	20	
利用者		水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	21	
利用者		水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	22	
利用者		水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	23	
利用者		水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	24	
計	24経営体		11.1 ha	0 ha		11.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

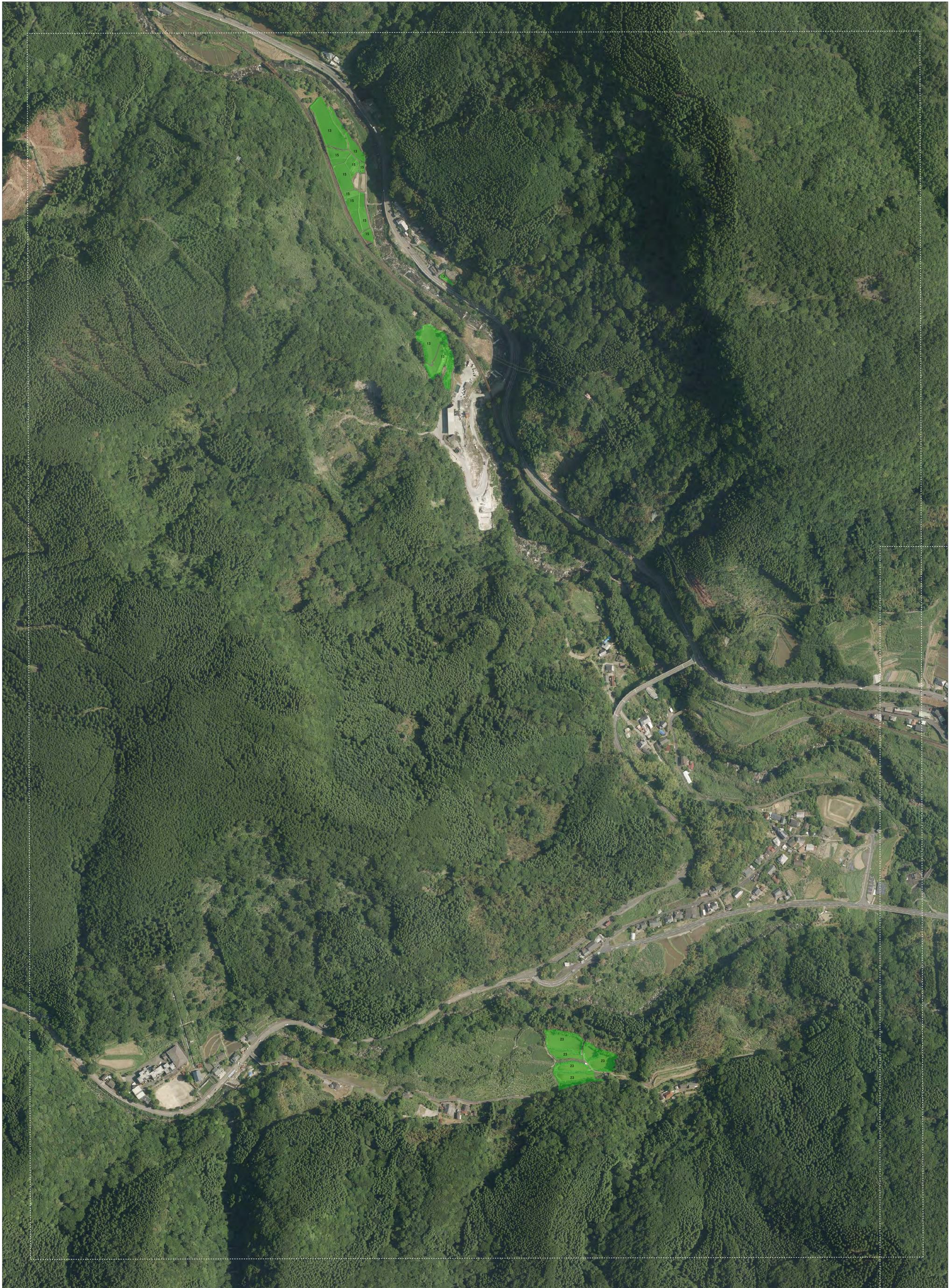
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

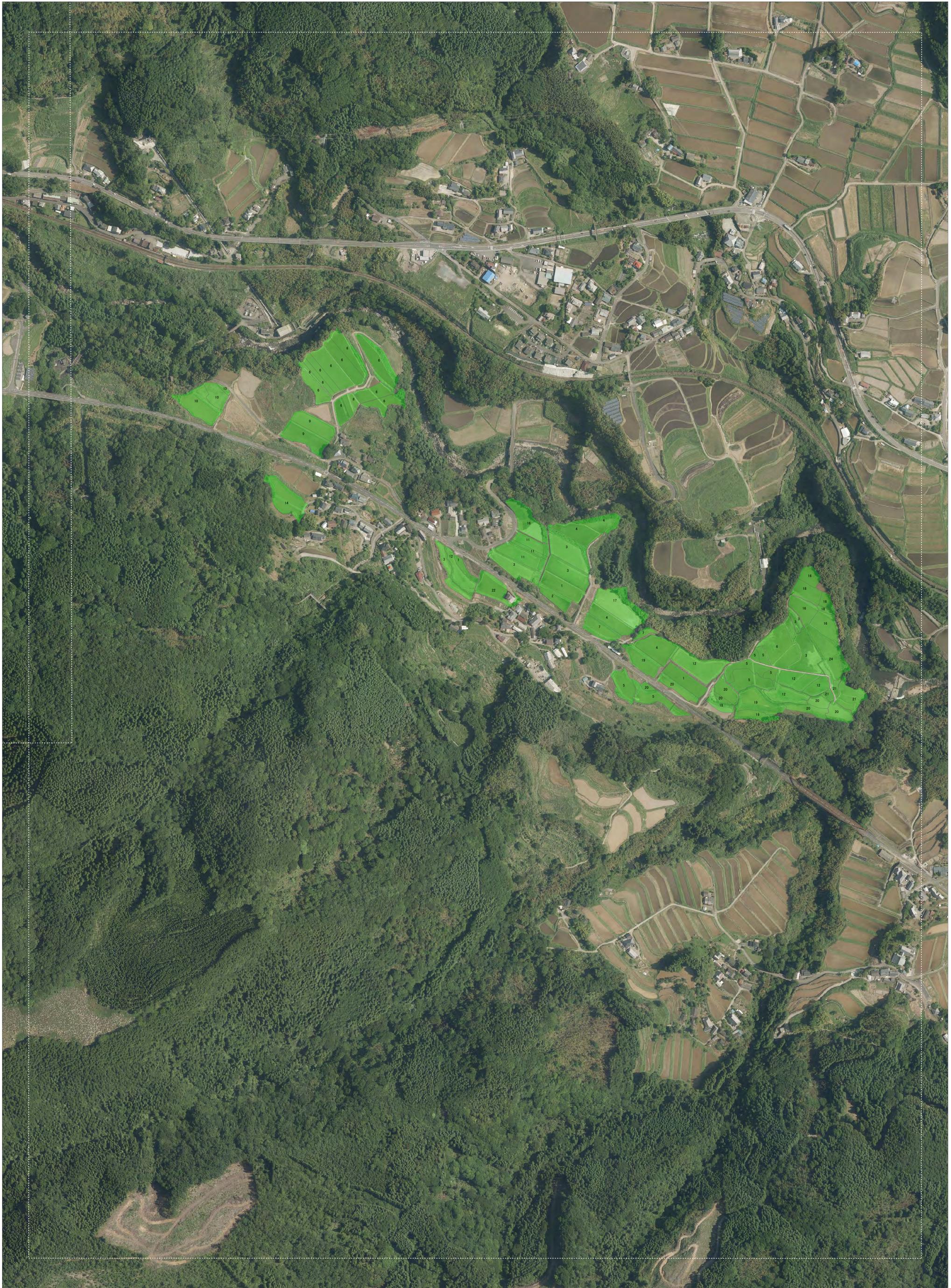
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。



【凡例】 10年後も担い手あり 検討中 維持管理をする土地



【凡例】 10年後も担い手あり 検討中 維持管理をする土地